

- 森岡秀人 1978 「新中国・遺跡文部の旅」『武蔵歴史学』第16号・武蔵史学会
- 森岡秀人 1982 「阪神地方その歴時代・『西漢の繩文化』展によせてー』「芦の芽」35 芦の芽グループ
- 森岡秀人 1984 「八十塚古墳群ヶ平支群墓23・24・25・29号墳」『兵庫県埋蔵文化財調査報告書 昭和56年度』兵庫県教育委員会
- 森岡秀人 1987a 「八十塚古墳群ヶ平支群第33号墳」『兵庫県埋蔵文化財調査年報 昭和59年度』兵庫県教育委員会
- 森岡秀人 1987b 「八十塚古墳群ヶ平支群第43号墳」『兵庫県埋蔵文化財調査年報 昭和59年度』兵庫県教育委員会
- 森岡秀人 1988a 「八十塚古墳群ヶ平支群第44号墳」『兵庫県埋蔵文化財調査年報 昭和60年度』兵庫県教育委員会
- 森岡秀人 1988b 「63・東六甲採石場」『兵庫県埋蔵文化財調査年報 昭和60年度』兵庫県教育委員会
- 森岡秀人 1990a 「1980・1990年 この10年の文化財保護行政」『芦屋市教育委員会40周年記念誌』芦屋市教育委員会
- 森岡秀人 1990b 「芦屋市松ノ内町56番、58番、60番 平見秀市氏所有地の刻印測定」(終了報告) 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人 1993 「伝芦屋寺の塔心礎1」「なりひら」第13号 芦屋市立美術博物館
- 森岡秀人 1993b 「芦屋市川尻遺跡埋蔵文化財調査報告書」芦屋山教育委員会
- 森岡秀人 1994a 「伝芦屋寺の塔心礎2」「なりひら」第14号 芦屋市立美術博物館
- 森岡秀人 1994b 「芦屋市中央造園事業に伴う長川路B地点工事立案会議終了報告」芦屋市教育委員会
- 森岡秀人 1994c 「『三、鈷鉛』平成5年度国庫補助事業 芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書(八十塚古墳群・徳川大坂城ヶ平採石場)」
「芦屋市文化財報告第25集」芦屋市教育委員会
- 森岡秀人 1996 「山芦屋遺跡(58地点)」「平成7年度国庫補助事業 芦屋市内遺跡発掘調査・震災復興に伴う埋蔵文化財緊急確認(試掘)調査報告書」
「芦屋市文化財調査報告第27集」芦屋市教育委員会
- 森岡秀人 2002 「5. 指揮八十塚古墳群と菟原郡草薙郷・賀美郡辺の古代史」「八十塚古墳群の研究」<関西大学文学部考古学研究第7号> 関西大学文学部考古学研究室
- 森岡秀人 2003 「徳川氏再建大坂城の石切り丁場の調査と保護・芦屋市の行政的取り組みと成果を中心にしてー」「石垣普請の風景を読むー城の石垣はいかにして築かれたかー」 東北芸術工科大学
- 森岡秀人 2004 「古代学への提言 文遺跡の個性は地域から発見を」『古代学研究』166 古代学研究会
- 森岡秀人 2005a 「東六甲徳川大坂城石切場の発掘調査」「天下普請を支えた石材の調達・東六甲徳川大坂城石切場」現地検討会資料 主催: 大阪歴史学会 後援: 日本考古学協会・文化財保存全国協議会・関西文化財保存協議会・歴史資料ネットワーク
- 森岡秀人 2005b 「芦屋市岩ヶ平・徳川大坂城石切場発掘調査の成果」<古代学研究会発表要旨・資料>(2005年6月18日 アビオ大阪)
- 森岡秀人 2005c 「石切丁場の出現・徳川大坂城・芦屋市東六甲石切場の発掘調査からー」「国際シンポジウム 勝國の倭城と大坂城ー西国大名は後醍醐から何を学んだか?」
- 森岡秀人 編 1980 「芦屋市埋蔵文化財調査分布地図及び地名表(第1分冊)」<芦屋市文化財調査報告第12集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人 編 1983 「八十塚古墳群発掘調査概要・岩ヶ平支群F支群西地区の緊急調査成果概要」<芦屋市文化財調査報告第13集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人 編 1986 「埋蔵文化財メモリアル80~85」<芦屋市文化財調査報告第14集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人 編 1988 「芦屋市埋蔵文化財包蔵地分布地図・利用の手引き」<芦屋市文化財調査報告第16集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人 編 1998 「徳川大坂城東六甲採石場I・芦屋山墓園擴張工事に伴う奥山剣崎郡K地区の事前発掘調査ー」<芦屋市文化財調査報告第31集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人 編 2004 「前田公園建設事業に伴う前田遺跡(第20地点)発掘調査概要報告書ー発生前期水田跡の構造と水利動態ー」<芦屋市文化財調査報告第52集> 芦屋市・芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・荒木幸治 2001 「各都道府県の動向 28.兵庫県」『日本考古学年鑑』52(1999年度版) 日本考古学学会
- 森岡秀人・坂田典彦 2003a 「寺由遺跡(第128地点)発掘調査報告書」(芦屋市文化財調査報告第47集) 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・坂田典彦 2003b 「平成11年度国庫補助事業 城山南遺跡E・F・G地点本発掘調査実績報告書」芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・坂田典彦 2004 「津知遺跡(第181地点)発掘調査報告書ー共同住宅建設事業に伴う通路西側部の様相把握ー」<芦屋市文化財調査報告第50集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・坂田典彦 2005a 「津知遺跡(第181地点)発掘調査-157地点における条理地割内の様相-『簡報』」<芦屋市文化財調査報告第49集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・坂田典彦 2005b 「岩ヶ平石切丁場ー徳川氏大坂城採石場の発掘調査ー」月刊考古学ジャーナル528 ニューサイエンス社
- 森岡秀人・坂田典彦 2006c 「城郭研究の一視点ー徳川大坂城東六甲採石場の発掘調査からー」日本考古学協会第71回総会研究発表要旨 日本考古学協会
- 森岡秀人・島田竜雄 1988 「芦屋市(地誌、現行行政区名)」「角川日本地名大辞典」28 兵庫県 角川書店
- 森岡秀人・田口泰久 1991 「芦屋と大阪城」「芦屋の歴史と文化ー歴史資料展示常設展示図録ー」芦屋市立美術博物館
- 森岡秀人・竹村忠洋 2000 「阪神・淡路大震災に伴う埋蔵文化財震災復興調査の経過と課題ー芦屋市における5年間振りかえってー」「地震灾害と考古学ー阪神・淡路大震災の被災状況と復興への取り組みー」日本考古学協会阪神・淡路大震災埋蔵文化財対策特別委員会
- 森岡秀人・竹村忠洋 2003 「芦屋市埋蔵文化財分布地図及び利用の手引き」<芦屋市文化財調査報告第40集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・竹村忠洋 編 1999 「若宮遺跡(第1・2地点)発掘調査報告書ー月若道跡復興地盤整備事業(芦屋市若宮住宅1分館建設)に伴う埋蔵文化財前調査の成果ー」<芦屋市文化財調査報告第30集> 芦屋市・芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・竹村忠洋 編 2001 「芦屋市埋蔵文化財包蔵地分布地図・利用の手引き」<芦屋市文化財調査報告第40集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・白谷朋世 編 1993 「六麓荘94番地埋蔵文化財分布地図金額金額」
- 森岡秀人・白谷朋世 編 1992a 「平成3年度国庫補助事業 芦屋山寺遺跡が発掘調査概要報告書 月若道跡第14地点 八十塚古墳群岩ヶ平支群第50号墳」<芦屋市文化財調査報告第22集> 芦屋市教育委員会(実績報告)
- 森岡秀人・白谷朋世 編 1992b 「八十塚古墳群岩ヶ平支群第50号墳の発掘調査」「平成3年度国庫補助事業 芦屋山寺遺跡が発掘調査概要報告書 月若道跡第12次地点 月若道跡第14地点 八十塚古墳群岩ヶ平支群第50号墳」<芦屋市文化財調査報告第22集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・白谷朋世 編 1994 「平成5年度国庫補助事業 芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書 六麓荘94番地(八十塚古墳群・徳川氏大坂城岩ヶ平採石場)」<芦屋市文化財調査報告第23集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・藤川祐作 1988 「芦屋市埋蔵文化財貯蔵地図及び地名表(第1分冊)」芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・古川久雄 1992 「芦屋市立美術博物館野外歴史資料展示における近世考古資料の一例ー丘陵県芦屋市呉川出土の大坂城再築関係石

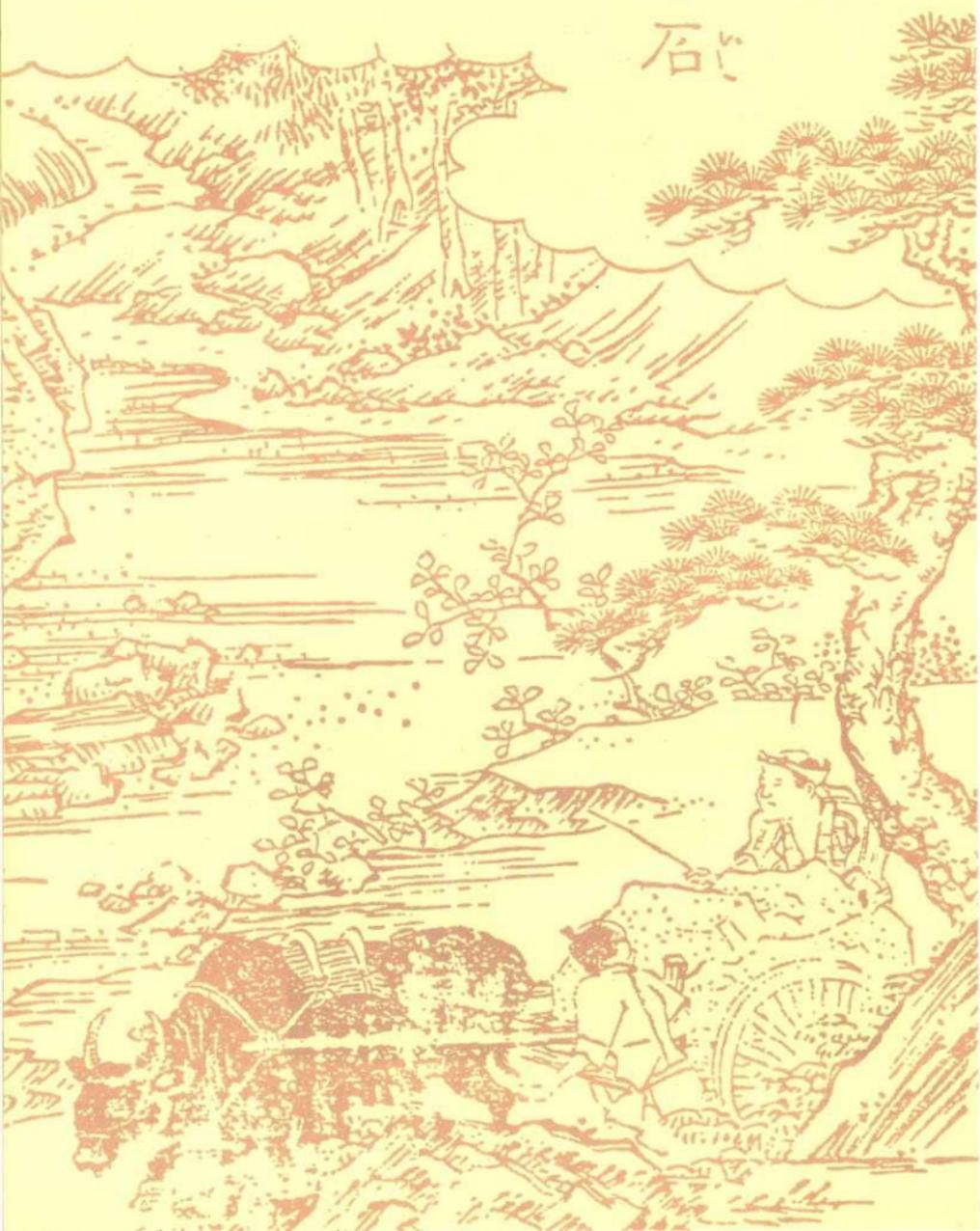
- 村についてー』『千葉』（関西大学博物館学課程創設三十周年記念特集） 関西大学
- 森岡秀人・古川久雄 1998 「徳川大阪城東六甲採石場 I - 芦屋寒風園拡張工事に伴う奥山剣印群K地区内の事前発掘調査-」<芦屋市文化財調査報告第31集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・古川久雄 2002 「平成13年度国庫補助事業 徳川大阪城東六甲採石場Ⅲ 岩ヶ平剖印群（第11次）発掘調査報告書」<芦屋市文化財調査報告第42集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・古川久雄 2002b 「芦屋市六塙町洋水場高区配水池（水道施設）築造工事に伴う埋蔵文化財発掘調査実績報告書－徳川大阪城東六甲採石場岩ヶ平剖印群第12回調査の概要－」
- 森岡秀人・古川久雄 編 1979 「芦屋・八十塚古墳群岩ヶ平支群の調査」『兵庫県埋蔵文化財調査集録』第4集 兵庫県教育委員会
- 森岡秀人・古川久雄 編 1979b 「芦屋・八十塚古墳群岩ヶ平支群の調査」<芦屋市文化財調査報告第11集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・古川久雄・和田秀寿 1988 「芦屋市埋蔵文化財分布図・利用の手引き」<芦屋市文化財調査報告第16集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・古川久雄・和田秀寿 1989 「徳川大阪城東六甲採石場岩ヶ平剖印群の調査－芦屋市六塙町113番地1・2所在－」<平成元年度芦屋市埋蔵文化財調査概要19> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・和田秀寿・白谷朋世 編 1993 「芦屋市埋蔵文化財分布図・利用の手引き」<芦屋市文化財調査報告第24集> 芦屋市教育委員会
- 森岡秀人・和田秀寿・古川久雄 ほか 1990 「八十塚岩ヶ平支群第10号墳の調査－古墳損壊にともなう確認調査-」<芦屋市文化財調査報告第20集> 芦屋市教育委員会
- 森口 忠 1965 「兵庫縣城跡史」
- 森口 忠 1977 「兵庫縣十八藩史」 中外書房
- 森田克行 2000 「城の石垣」『考古学による日本歴史 6 戦争』雄山閣
- 八木哲浩 1968 「近畿の城下」『尼崎市史』第2巻 尼崎市役所
- 八木哲浩 1985 「幕府領国と尼崎藩」『地域史研究 尼崎市立地域研究史料館紀要』第14巻第3号 尼崎市立地域研究史料館
- 八木哲浩 1996a 「尼崎城下」『尼崎史地典』 尼崎市
- 八木哲浩 1996b 「尼崎藩」『尼崎史地事典』 尼崎市
- 八十塚古墳群発掘調査会 編 1994 「兵庫県芦屋市所在 八十塚古墳群岩ヶ平支群第52・53・54・55・56号墳発掘調査現地説明会資料」 八十塚古墳群発掘調査会（関西大学考古学研究室内）
- 柳在春 2000 「近世築城城郭の比較研究」 国学資料院
- 山田邦和 2001 「伏見城とその城下町の復元」『難波秀吉と京都』 日本史研究会
- 大和郡山市役所 1966 「大和郡山市史」
- 山中一郎 1983 「朝日・丘道跡」 芦屋市教育委員会
- 山中一郎 1984 「朝日・丘道跡」『兵庫県埋蔵文化財調査年報 昭和56年度』 兵庫県教育委員会
- 山本慶一 1986 「備前下津井城」 日本古城友の会
- 横田冬彦 1980 「近世初期城郭の作事編成」『日本史研究』213号 日本史研究会
- 横田冬彦 2001 「難波政宗と首都」『難波秀吉と京都』 日本史研究会編
- 横田冬彦 2002 「日本の歴史 第16巻 天下泰平」 講談社
- 吉岡 明 1944 「攝津国尼屋郡土器石器時代文化研究」
- 善種美恵子 1968 「手伝番について」『学習院大学文学部研究年報』14号
- 善種美恵子 1969 「手伝番請について」『手伝番請一覧表』『学習院大学文学部研究年報』15号
- 羅 東旭 2005 「韓国慶尚南道地域の城郭跡の発掘調査成果－最近調査された城郭と鎮城を中心として－」『国際シンポジウム「韓国の城郭と大阪城」資料集』 傑城・大阪城国際シンポ実行委員会
- 李 東注 2005 「金海竹籠城と鬼浦籠城支城部の性格」『国際シンポジウム「韓国の城郭と大阪城」資料集』 傑城・大阪城国際シンポ実行委員会
- 歴史研究会 編 1984 「新版 日本史年表」 岩波書店
- わがかわ親光推進協議会 2005 「Bessoku 地域無料配布パンフレット
- 脇田 修 1979 「近世初期の都市経済」『日本史研究』200号 日本史研究会
- 俊城・大阪城国際シンポ実行委員会 2005 「国際シンポジウム「韓国の俊城と大阪城」資料集」
- 俊城研究会 編 1979 「俊城 I」
- 和田晴吾 1983 「古墳時代の石工とその技術」『北陸の考古学』 石川考古学研究会誌26号
- 和田晴吾 1991 「石工技術」「古墳時代の研究5」『崖山閣叢書』
- 和田晴吾 2002a 「石切場」『日本考古学事典』（編集代表 田中琢・佐原真） 三省堂
- 和田晴吾 2002b 「花崗岩」『日本考古学事典』（編集代表 田中琢・佐原真） 三省堂
- 和田晴吾 2005 「第5章第1節 古代の石切技術」『高砂市文化財調査報告書12 高砂市高砂市所在屯山石切場－屯山採石遺跡詳細分布調査報告書－』 高砂市教育委員会
- 渡辺 武 1981a 「大阪市 大坂城」『日本城郭大系』第12巻 新人物往来社
- 渡辺 武 1981b 「豊臣時代大坂城の三の丸と櫓構について－『懐石台鑑』所収「大坂冬の陣配陣圖」を中心に－」『難波宮跡の研究』第7・大阪市文化財協会
- 渡辺 武 1989 「第二章第二節 徳川幕府の大坂城再建」『新修大阪市史』第3巻(近世1) 大阪市
- 渡辺 武 2005 「難波秀吉の城造り」『国際シンポジウム「韓国の俊城と大阪城」資料集』 傑城・大阪城国際シンポ実行委員会
- 渡辺 武・内田九州男・北川 央 1988 「大坂城丸太下石垣（豊臣時代天守台石垣）遺構ボーリング調査ならびに試掘調査概報」『大阪城天守閣紀要』第17号 大阪城天守閣
- 渡辺 武・内田九州男・中村博司 1975 「豊臣時代大阪城遺構確認調査概報」『大阪城天守閣紀要』第3号 大阪城天守閣
- 渡辺 昇 2004 「兵庫の石切り場」『第9回中四国中世城館調査後検討会－中四国の中城郭にみる石垣講座－』 第9回中四国中世城館調査検討会
- P H P研究所 2002 「歴史街道12月特別増刊号 名城を歩く 2 金沢城」

写真図版
PLATE



御影石
溝切刃

『日本山海名産名物図会』〔寛政 11 年〕





大阪湾上空から芦屋市街地や六甲山地東南麓をのぞむ 芦屋市広報課撮影・提供（平成14年）



東方上空から岩園町・六龍荘町付近を俯瞰する 芦屋市広報課撮影・提供（平成5年）

図版1



調査地遠景（北東から）中央が発掘現場。遠方に湊岸線とシーサイドタウンがみえる。

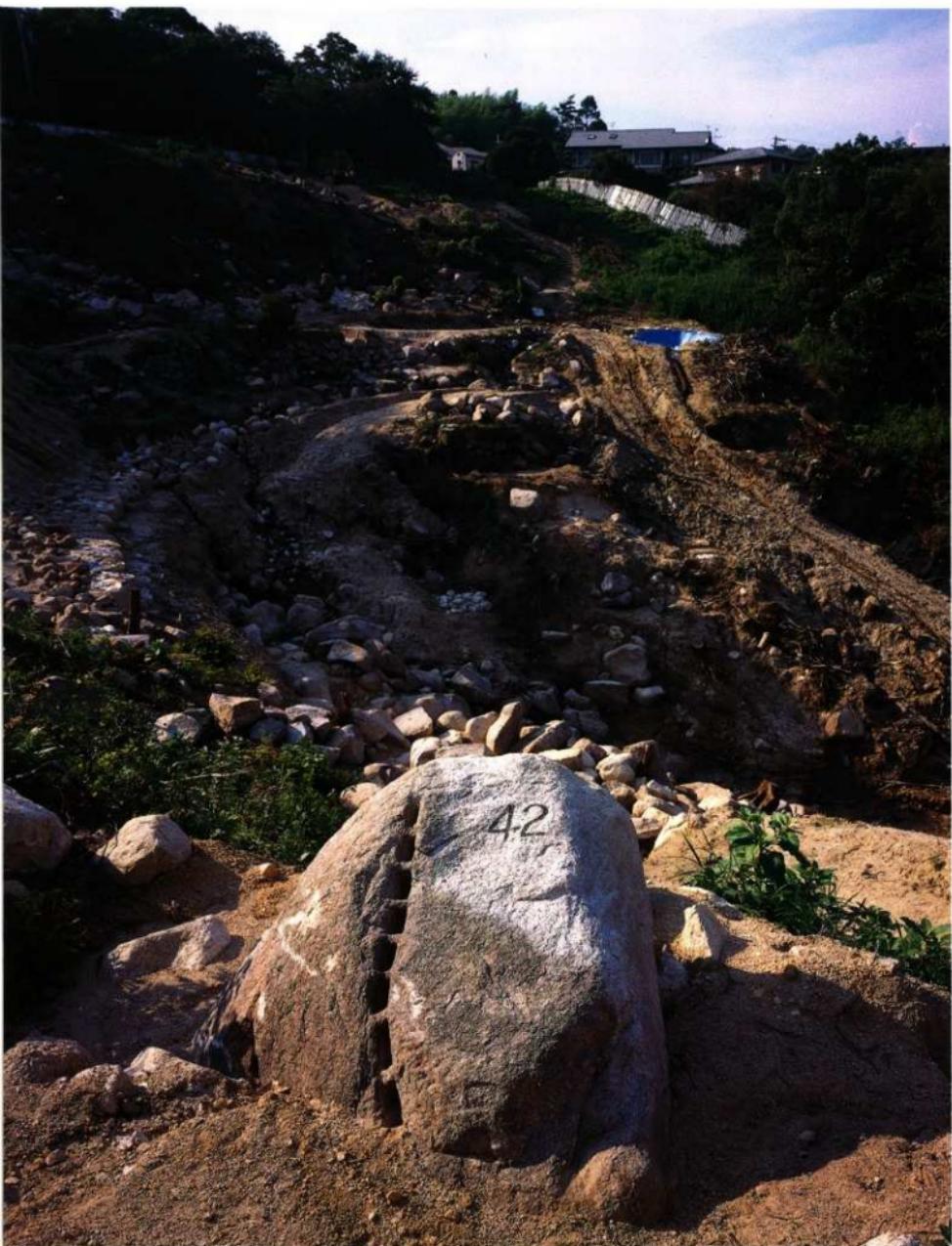


調査地遠景（南西から）中央が発掘現場。遠方に六甲山地前山が連なる。



A地区斜面上方より西宮・大阪市街を望む（梅原章一氏撮影）

図版3



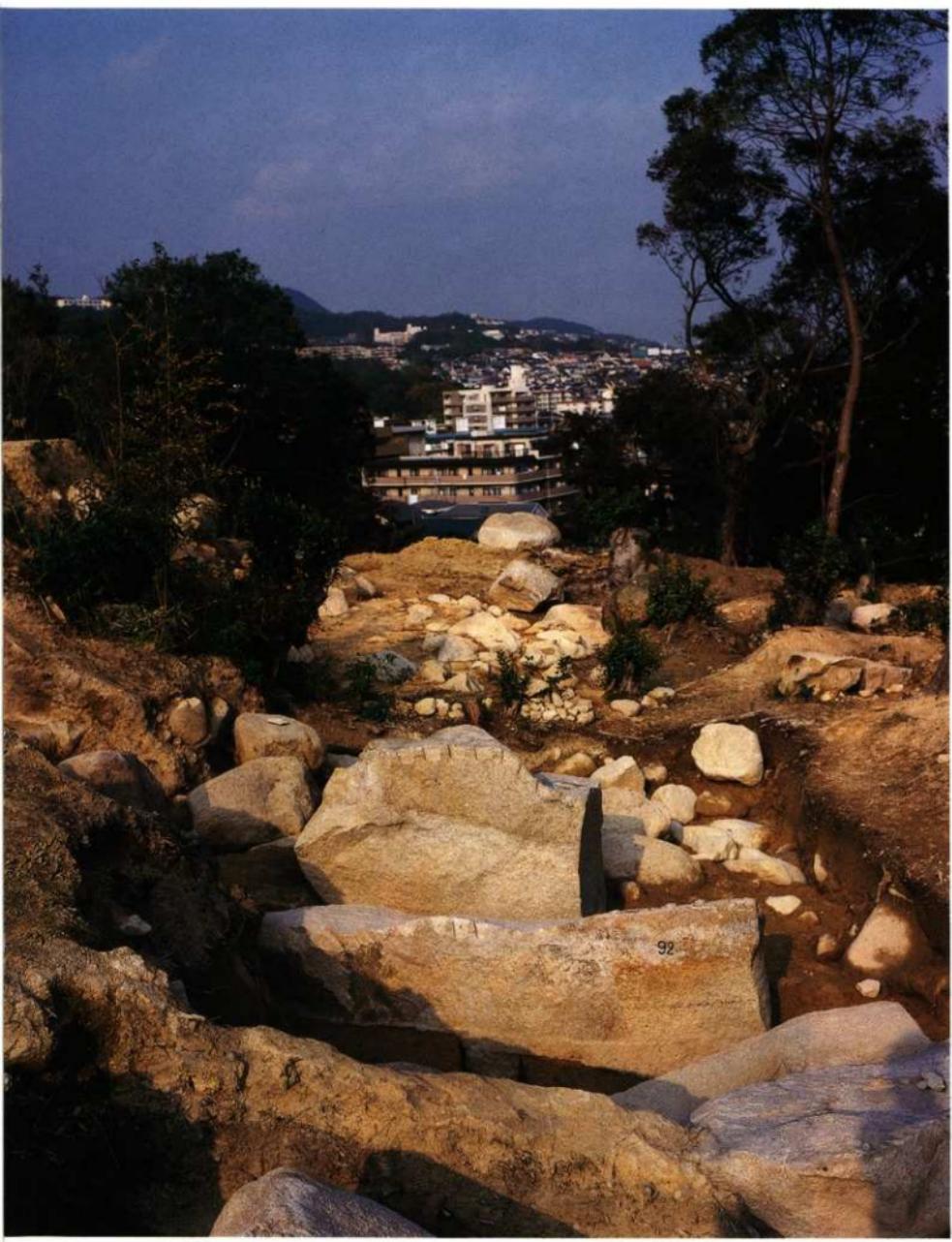
谷1右岸上方斜面より A 地区全域を望む（梅原章一氏撮影）



A地区谷1 石切丁場検出状況（梅原章一氏撮影）



A地区谷1 沢地一帯に広がる元和～寛永期の石切丁場（梅原章一氏撮影）



C地区本調査Ⅲ区 姿を現した元和～寛永期の石切丁場（梅原章一氏撮影）



C地区本調査Ⅲ区石切丁場完掘状況（梅原章一氏撮影）



C地区本調査Ⅲ区 91・92・112号石材・刻印石近景（梅原章一氏撮影）



A・D 地区谷1調査前の状況（西から）
撤入盛土・伐採木が谷全体を覆い、転石
が散見される。谷頭から西宮市老松町方面
を望む。この谷には石切丁場を予想して、
発掘に挑む。



C 地区谷2遠景（南東から）
谷2右岸を継続する第20地点①トレンチ
を手前中央に見据え、後背に六甲山地前山
南東麓を望む。石切丁場が活動していた元
和～寛永期の江戸時代初めには、石材がゴ
ロゴロ見えていた光景だったかもしれない。



B 地区遠景（北から）
第14・21地点付近に相当し、右手側に数
mの盛土が撤入されている。この地区での
確認調査は造成土が厚く、現地表に達する
まで重機を用いて掘削した。



A 地区調査開始直後の遠景（南から）

盛土の含水防止措置としてブルーシートで覆う（手前）。発掘現場は、造成土に覆われ、土砂流出など大変危険な状態になっていた。西宮市苦楽園、老松町と連なる丘陵地のようす。



A 地区谷1左岸部の状況（南東から）

重機搬入路の造成と伐採木の搬出。本遺跡の発掘には、重機を駆使したが、その車路の確保やトレンチ設定場所に相当苦慮した。発掘調査を開始した頃。



A 地区谷1の石材検出状況（東から）

谷底から夥しい量の矢穴痕を持つ石材・未加工巨礫が検出された。谷丁場の出現である。当時の石切丁場の活発な採石活動を想像しつつ、発掘を進める。



C地区第15地点発掘調査前の旧状
(南から)

造成土の進出はこの付近で止まっており、耕作地には草が生え、ほぼ旧地形を保っていた。写真遠景の山々に特徴的な甲山の姿がみえる。(中央右寄り)



C地区第16地点東半発掘調査前の旧状
(北から)

確認調査のトレチを入れる前の状況。この台地面でも刻印石や割石が多数出土することになる。体験してから歳月が経ち、草地が広がっていた。



C地区第16地点西半発掘調査前の旧状
(北から)

岩園神社境内に近く、「岩ヶ平遺跡」に伴う遺物の散布がみられた地区。トレチ設定前のようす。中段の写真より一段高い耕作面。確認トレチは2本設定した。